

修正箇所対比表

資料-3

ページ	R2.2	R3.2 (本協議会で配布)
表紙	令和2年2月	令和3年2月
P2	② 想定し得る最大規模の降雨を・・・ (R1年度末、40%終了予定)	② 想定し得る最大規模の降雨を・・・ (R2年度末、55%予定)
P3	④各地区において避難訓練を実施 【市：継続】 これまでの取組 令和元年度の実施状況 ・ 11/10 佐伯市地域避難訓練 (全市民の約16%参加) ※青山地区にて、ダム緊急放流避難訓練実施 (参加者327名)	④各地区において避難訓練を実施 【市、県：継続】 これまでの取組 令和2年度の実施状況 ・ 佐伯市大字木立 中野河内地区にて土砂災害避難訓練を実施。(R2.11.8)
P3	今後の取組 令和2年度の目標	今後の取組 令和3年度の目標 3. 洪水・土砂災害ハザードマップやタイムラインを活用した避難訓練を実施予定。
P4	令和元年度の防災教育の現状 【市】 (1) 水防訓練への生徒・児童の参加 令和元年度は、・・・避難者役体験した。 (2) 佐伯市生徒指導連絡協議会にて講話 市内全高校が参加する・・・説明した。 (3) 生徒・児童を対象に、防災講話の実施 令和元年度は、・・・2/28に佐伯鶴城高校でも実施予定 【国】 (1) 令和元年度本匠小・中学・昭和中学に水防災用資料配布	令和2年度の防災教育の現状 【市】 (1) 佐伯市生徒指導連絡協議会にて講話 市内全高校が参加する・・・説明した。 (2) 生徒・児童を対象に、防災講話の実施。 令和2年度は、幼稚園2園、小学校5校、中学校3校にて防災講話を実施した。(R. 2. 11. 11現在) 【国】 (1) 令和2年度昭和中学校に河川情報の入手方法、タイムライン作成等の防災教育を実施。

修正箇所対比表

資料-3

ページ	R2.2	R3.2（本協議会で配布）
P4	これまでの取組（継続） ・【市】地区防災講話・・・ ・【市】地元住民、関係機関による防災パトロール（R1.5.22） ・【市】防災士養成研修（R1.8.24～25、11.30～12.1） ・【国】H30年は、2ヶ所の出前講座を実施（女島・池船）	これまでの取組（継続） ・【市】地区防災講話・・・（R2年度4回） ・【市】地元住民、関係機関による防災パトロール。（R2年度は中止） ・【市】防災士養成研修。（R2.11.28～29 R3.2.18～19） ・【国】H31年は、2ヶ所の出前講座を実施。（女島・池船） ・【気】防災士養成研修。（大分県主催及び佐伯市主催お研修に講師を派遣）
P5	⑦ 防災気象情報の改善（浸水害の「危険度の色分け」、「警報級の可能性の表現」等の導入） 【気：H29年度完了】	⑦ 防災気象情報の改善（線状降水帯による豪雨に対する情報提供の改善） 【気：継続】
P7	⑪ 発表の対象区域や避難の切迫性等が市長や住民等に確実に伝わる洪水予報文の改善 【気、国：H28年度完了】	⑪ 発表の対象区域や避難の切迫性等が市長や住民等に確実に伝わる洪水予報文の改善 【気、国：継続】
P7	番匠橋水位観測所 大分県佐伯市佐伯地区、大分県佐伯市渡町台地区、大分県佐伯市佐伯東地区、大分県佐伯市上堅田地区、大分県佐伯市鶴岡地区、大分県佐伯市弥生上野地区、大分県佐伯市弥生切畑地区、大分県佐伯市本匠地	番匠橋水位観測所 大分県佐伯市 佐伯地区、渡町台地区、佐伯東地区、上堅田地区、鶴岡地区、弥生上野地区、弥生切畑地区、本匠地区
P8		・「You Tubeによるリアリティーのある河川映像の伝達」画像の追加 ・「簡易型河川監視カメラ画像の提供」画像の追加
P9	市 ・R2.4から市のホームページリニューアルにより、道路浸水状況を映像で配信予定	市 ・R2.6から市のホームページリニューアルにより、道路浸水状況を映像で配信(33箇所) 今年度中に防災カメラを増設3ヶ所。

修正箇所対比表

資料-3

ページ	R2.2	R3.2（本協議会で配布）
P9	<p>気</p> <p>・大雨警報（土砂災害）、大雨警報（浸水害）、洪水警報の各危険度分布について、気象庁HPで提供中。また、令和元年12月24日から各危険度分布にハザードマップを重ね合わせて表示している。（右図）</p>	<p>気</p> <p>・大雨警報（土砂災害）、大雨警報（浸水害）、洪水警報の各危険度分布について、気象庁HPで提供中。また、この各危険度分布にハザードマップを重ね合わせて表示している。（右図）</p>
P9	<p>国</p>	<p>国</p> <ul style="list-style-type: none"> ・YouTubeによるリアリティーのある河川映像の伝達を開始。 ・簡易型河川監視カメラ画像の提供。
P10	<p>・H29.5月より配布開始。引き続き、申請受付中（R1.12末現在・申請率62.1%）</p>	<p>・H29.5月より配布開始。引き続き、申請受付中。（R2.10末現在・申請率63.7%）</p>
P11	<p>【県】市町村の避難勧告等の発令等に係る支援について（概要）H27～集中豪雨等による土砂災害や洪水から住民の生命及び身体を守るためには、住民一人ひとりが適切な行動をとれるよう、市町村において避難勧告等の発令を的確に行うことが必要である。Ⅱ市町村の災害対応の多寡にかかわらず、防災気象情報を十分に活用し、避難勧告等のタイミングを逸することなく発令できるよう、市町村に対して避難勧告等の判断材料となるきめ細かな防災気象情報等の提供及び解説など総合的に支援できる体制を整える。</p>	<p>【県】市町村の避難勧告等の発令等に係る支援について市町村が避難勧告等のタイミングを逸することがないように、防災気象情報を十分に活用し、避難勧告等に繋がる河川水位情報を確実に伝達し、迅速かつ適切な避難勧告等の支援に繋げる。</p>
P12	<p>⑩⑪ 洪水対応演習R1.5.9</p>	<p>⑩⑪ 洪水対応演習R2.5.12</p>
P16	<p>⑳地域防災拠点の検討・整備【市：継続】</p> <p>これまでの取組</p> <p>・・・臨時ヘリポート</p>	<p>⑳地域防災拠点の検討・整備【市：継続】</p> <p>これまでの取組</p> <p>・・・臨時ヘリポート、給食センター。</p>

修正箇所対比表

資料-3

ページ	R2.2	R3.2 (本協議会で配布)
P16	今後の展開 ・【施工中】 給食センター	今後の取組 ・拠点が発災時に効果を発揮するため、各関係機関と細部の調整・検討を行う。 ・備蓄倉庫内の備蓄品がだれでもわかるよう、備蓄品マップの作製。
P17	佐伯市水防団（消防団）（H31.4.1現在）、61分団1,701名（うち女性23名）。	佐伯市水防団（消防団）（R2.4.1現在）、61分団1,659名（うち女性25名）。
P17	佐伯市内自主防災組織（H31.4.1現在）組織数303 結成率91.3%（結成済み地区337地区／全369地区）	佐伯市内自主防災組織（R2.4.1現在）組織数304 結成率91.5%（結成済み地区337地区／全368地区）
P18	○現状の取組	○現状の取組 ・いずれもR2年度は中止。
P19	【市、県、国】 佐伯市水防訓練の実施（R1年度は5/26に実施）	【市、県、国】 佐伯市水防訓練の実施。（R2年度は新型コロナウイルス感染防止のため中止）
P20	・トップセミナーの開催 河川管理者と佐伯市長が……。 (R1.6.10) ・重要水防箇所等の共同点検の実施 出水期前に……。実施。(R1.5.30)	・トップセミナーの開催。 河川管理者と佐伯市長が……。 (R2.6.4) ・重要水防箇所等の共同点検の実施。 出水期前に……。実施しているが、R2年度は書面開催を実施。
P21	・大規模災害時の必要資材量を整理し、調達計画を作成。	・大規模災害時の必要資材量を整理し、毎回見直しを実施。
P27	・地区や関係機関との調整を行いながら、内水対策事業を推進 (令和元年度 柏江地区詳細設計実施中)	・地区や関係機関との調整を行いながら、内水対策事業を推進。 (令和2年度 柏江地区排水樋管詳細設計実施中)

修正箇所対比表

資料-3

ページ	R2.2	R3.2（本協議会で配布）
P29	<ul style="list-style-type: none"> 洪水に対しリスクが高い区間の監視のため、国では番匠川の32箇所に簡易水位計をH31.3月末までに設置。 	<ul style="list-style-type: none"> 洪水に対しリスクが高い区間の監視のため、国では番匠川の32箇所に簡易水位計をH31.3月末までに設置。 簡易型河川監視カメラ(9ヶ所)については、R1年度末までに設置済み。
P30	<p>水位観測に加え河川状況を監視するため、番匠川圏域の水位周知河川（県管理）において2箇所設置済みであり、未設置である残りの5箇所について、今年度末までに設置完了予定。</p>	<p>水位観測に加え河川状況を監視するため、番匠川圏域の水位周知河川（県管理）において、令和元年度までに7箇所設置済み。</p>
P33	<p>(市町村営急傾斜地崩壊対策事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> R元年度(3ヶ所)平井・梅牟礼・大河原地区 R2年度(2ヶ所)間越・坂の浦地区 	<p>(市町村営急傾斜地崩壊対策事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> R2年度(2ヶ所)間越・坂の浦地区。 R3年度(2ヶ所)河内(蒲江)・鶴岡地区